

豊田市のTDM活動(3)

交通量は増加したが、走行速度の向上によりCO₂削減

モーダルシフトによる効果

所要時間▲30%

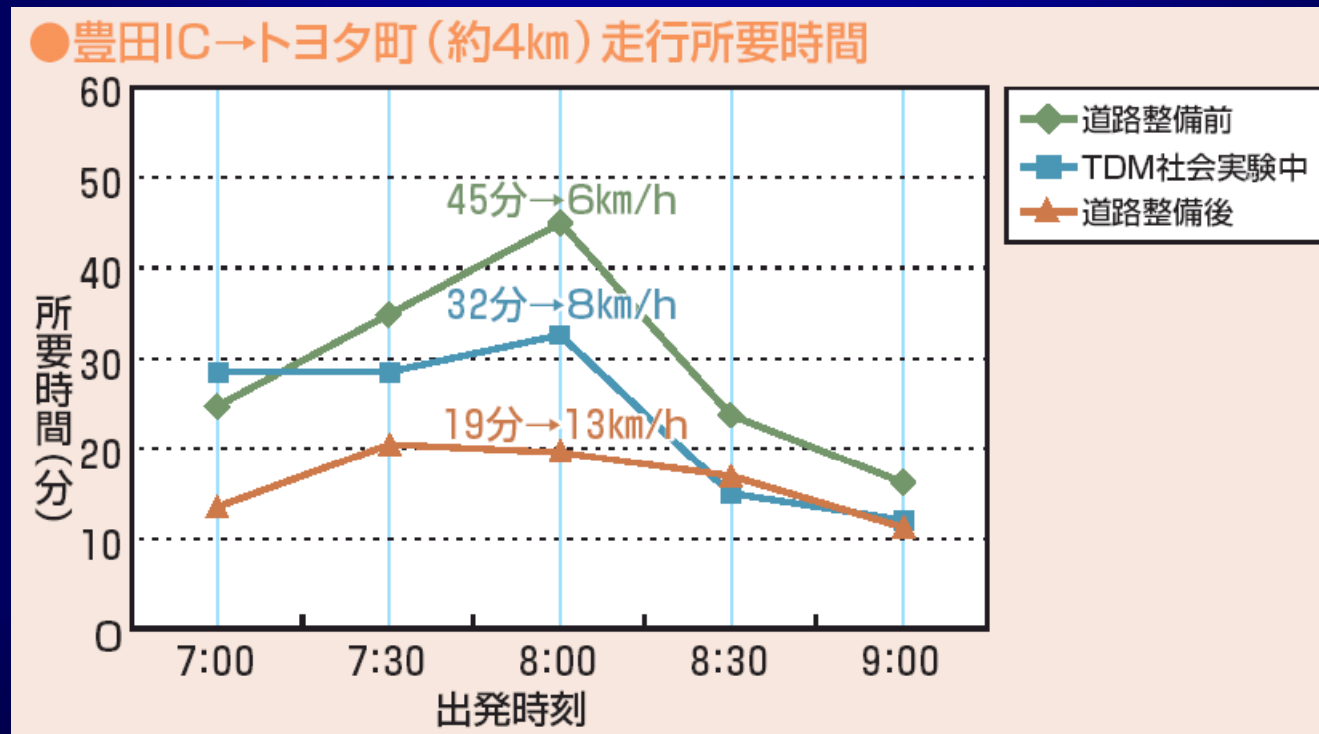
CO₂▲14%

+

道路整備による効果

所要時間▲60%

CO₂▲17%



目次

1. 現状認識
2. エネルギーと環境 課題対応
3. 産業競争力懇談会提案

渋滞・CO₂排出量を半減、交通事故死者を限りなくゼロに

目標： 環境、渋滞、交通事故の課題を解決する
都市・交通の実現。

国際的に妥当な輸送コストと定時性を確保できる
次世代物流システムの実現。

- 
- ・ 市民生活の質の向上
 - ・ 日本の産業競争力の強化

方策： 複合的アプローチで同時進行。

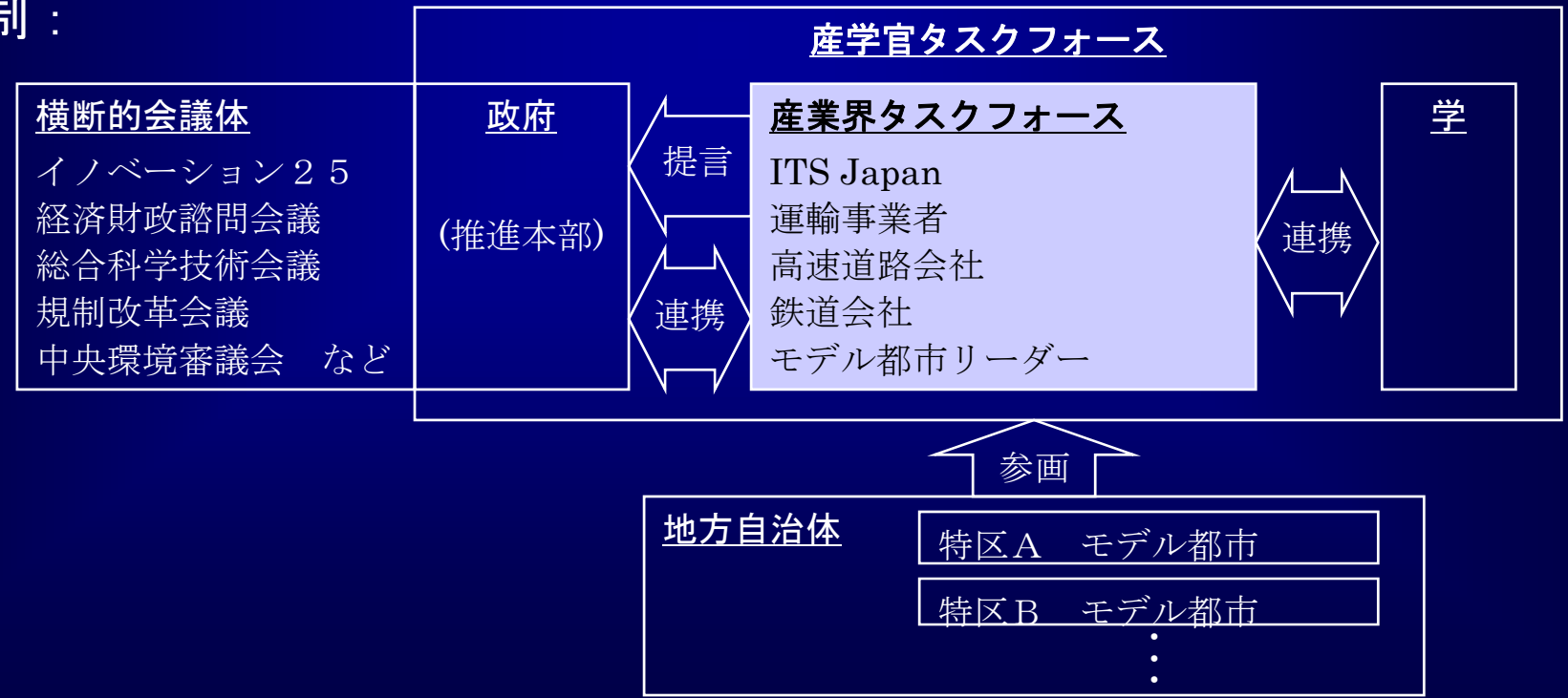
- 1) 効率的な交通・物流インフラの整備
- 2) 情報通信や電子制御技術を活用した次世代ITSの導入
- 3) 次世代技術を活用した移動体の普及
- 4) 市民および企業の自主活動の推進
- 5) 政策立案と実施

産業競争力懇談会提案 交通物流ルネサンス

進め方： 特区指定のモデル都市やモデル路線で、
制度改革を含めて大規模実証実験を行い、
実用化が可能と判断されたものは普及を加速。

産業界がタスクフォースを組んで、
先導的にイニシアチブを執り、
行政と一体となって実現に向けてコミットメント。

体制：

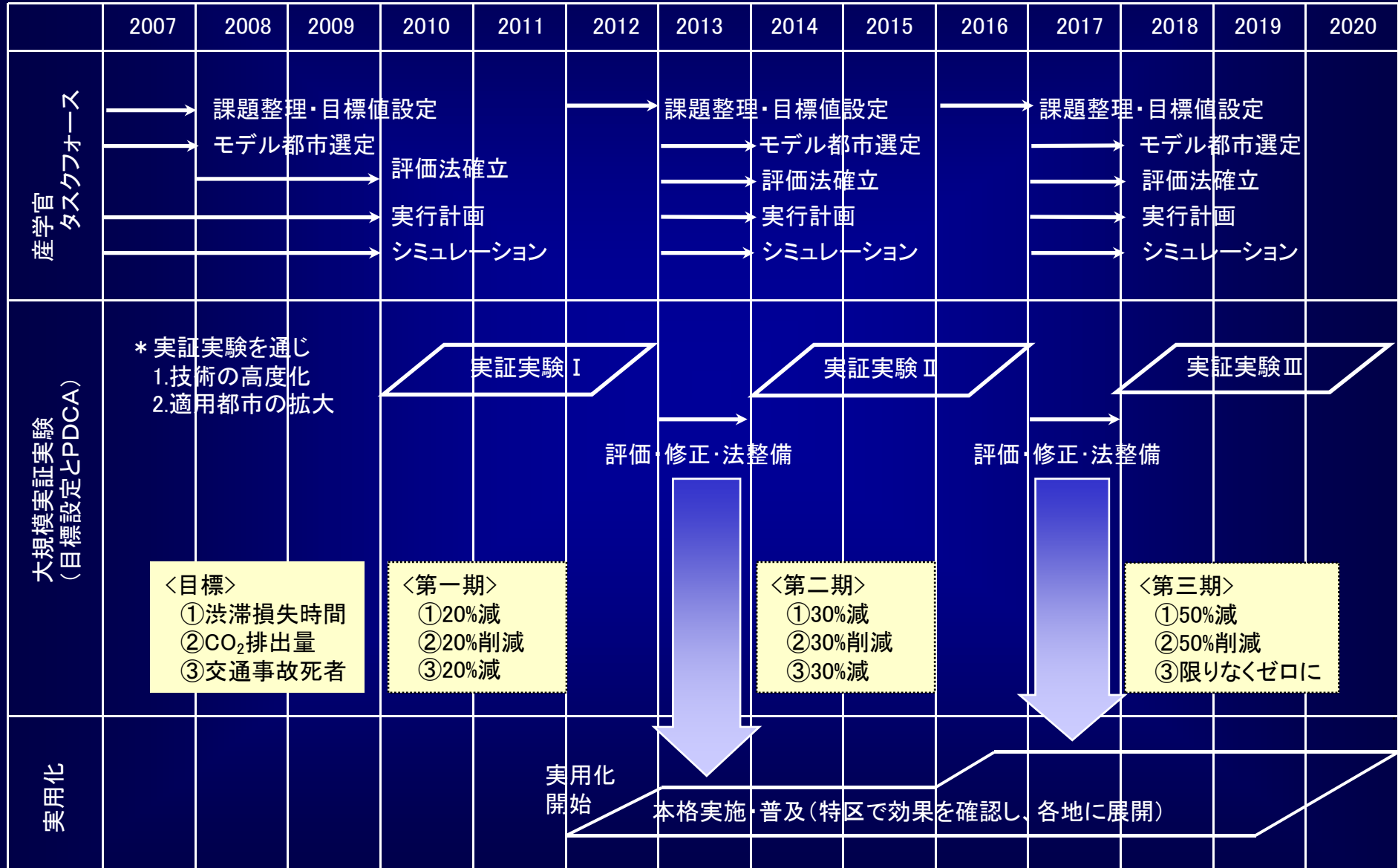


街づくりと一体となった都市交通の革新



産業競争力懇談会提案

ロードマップ



ご清聴有難うございました。



i - REAL (東京モーターショー出典)



iQ_CONCEPT
(東京モーターショー出典)



トヨタ・パートナーロボット